

年度	平成16～18年度
----	-----------

基本目的 9 行政機能が高くなる

行動目標 9-2 公正で効率的な行政運営を行う

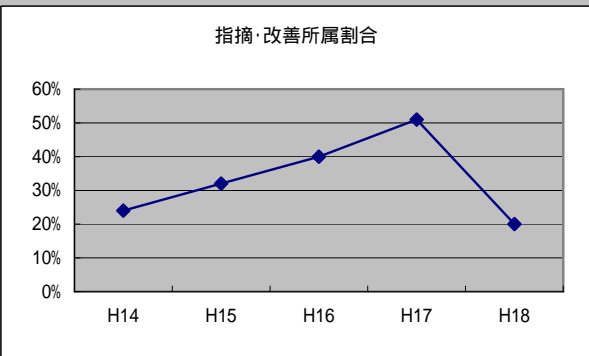
(所管課名 監査事務局)

任 務	市の財務が公正かつ効率的に執行されているのか、市行政の実績や成果が住民の福祉と行政水準の向上に寄与しているかどうかに重点を置いて、監査委員の行う監査事務の補助を行う。
------------	---

任務の成果・活動指標の推移

指摘・改善所属割合

H14実績	24%
H15実績	32%
H16実績	40%
H17実績	51%
H18目標	20%



指標の説明

定期監査等での指摘事項のうち検討・改善を要する指摘事項のあった所属の割合(究極の目標は0%)
 < 指摘所属数 ÷ 監査対象所属数 >

任務に対する評価

これまでの取組と成果、手段の妥当性

平成16～17年度

任務を達成するために年間監査計画に基づき、予定された定期監査など監査委員が行う監査事務の補助を適正に行うことが出来た。

定期監査等において、指摘事項のうち検討・改善を要する事項のあった所属数の割合は16年度40%17年度51%と増加している。このことは指摘事項の内容が複数の所属に共通するものがみられることが増加の原因の一つと考えられる。

監査結果については、監査対象部局のみに通知するだけでなく、全庁職員に問題を共有するために、市ホームページ、ノーツ掲示板に掲載し注意喚起をしている。

平成18年度

定期監査における指摘事項をこれまでのノーツ掲示板などへの掲載だけでなく、部長会議で報告し全職員へ周知徹底を図る。

18年度においては、これまでの定期監査などと平行して行う行政監査において「指定管理者制度の導入状況」を新たに設定し監査の充実を図る。

各所属への指摘・改善事項の取組状況を追跡調査することにより効率的な行財政運営に反映されているか検証を行う。

これからの課題、施策等展開の方向性

業務棚卸表を活用し、各課が達成すべき目標とその取組実績について、事業が公正かつ効率的に執行され、その実績や成果が十分反映され改善されているか、また施策や事業の見直しはどうかなど行政評価を活用した事務事業の執行について、経済的・効率的・有効的な面とともに透明性や説明責任の向上を図る。

「情報セキュリティ監査」の実施を検討する。